

# 2018 春闘の焦点

中

社会全体として介護への理解が足りない。春闘を機に、企業が正面から介護離職の問題に取り組むことを期待する。

不動産会社に勤めていた33歳の時、母親が精神を患い入院した。当時は医療保険や介護保険に関する知識がなく、介護をしている自覚もなかった。自分の無力さに自信をなくし、仕事への意欲も失って退職した。転職後も長続きしなかった。

人生を諦めかけていたが、介護経験者に「そのままで良い」と受け止めてもらい、救われた。介護者は相

談先がなく孤立しがちだ。離職などで収入が減ると不安は増す。働く介護者を支援したくて2014年に活動を始めた。介護をしながら、セミナーや企業研修を行い情報提供している。

## 介護離職防止対策促進機構 和気美枝代表理事



えは、違った流れを生み出せる。また、身近な情報が貴重な。企業は制度の周知だけでなく、介護経験がある社員に協力を求め、有用な情報を広めるべきだ。協力する社員も自分の経験が必要とされてモチベーションが上がる。

当事者も声を上げてほしい。家族介護者の窮状は見過ごされがちだ。どんな形でもよいから発信し、存在を世の中にアピールする必要がある。

## 働く意欲が重要

介護休暇・休業や短時間勤務など、社会の制度は充実している。しかし制度を使うと給料が減る。その生活が続くと先の見えないトネルにいる気分になり、何となく仕事を辞めてしま

う。中には社内でも不当な扱いを受けていた人もいるが、介護は辞めるきっかけにすぎないという人が実は多い。

先行きが見えなくても仕事の目標があり、会社と

ジョンを共有すれば続けられる。私を含め働きながら介護をする多くの人は、仕事や会社が好きで「辞めたくない」との思いが強い。信念があるからきりぎりで踏みとどまる。

企業がすべきことは、社員の働く意欲の向上だ。介護が始まる可能性がある年回りの社員に、働く意欲や目標を立て直すよう寄り添

わき・みえ 1971年生まれ、埼玉県出身。会社勤務を経て2014年に「ワーク&ケアバランス研究所」、16年に「介護離職防止対策促進機構」を設立。

## 安倍首相の新旧メッセージの違い

台湾東部で発生した地震を受け、安倍内閣総理大臣による新しいメッセージ

台湾東部で発生した地震を受け、安倍内閣総理大臣による新しいメッセージ

## 「蔡其」

異例対  
中国意

政府が台湾東部  
対応を巡り、8日  
ムページで公表

※出典は官報  
ページ

# 政権、佐川氏招致を拒否

## 森友問題で衆院予算委

政府、与党は13日の衆院予算委員会などで、学校法人「森友学園」への国有地売却問題を巡り、野党が求める佐川宣寿国税庁長官の国会招致を拒否する考えを重ねて示した。野党は佐川氏が財務省理財局長だった際の答弁内容を疑問視し、国会での説明責任を果たすよう求め、佐川氏の辞任が必要だと迫った。安倍政権は2018年度予算案を2月中旬に衆院通過させる構えだ。

## 野党は説明責任要求

麻生太郎副総理兼財務相は衆院予算委で、佐川氏の国会招致に「前職のこと」として国権を尊重する立場ではない」と述べた。安倍晋三首相も「財務相が答弁した通りだ」と強調した。両氏とも佐川氏の更迭は不要とした。

佐川氏は昨年通常国会

で理財局長として森友学園との交渉記録を「廃棄した」と繰り返し答弁した。だが財務省は9日に森友問題に関する内部文書20件を公表

した。野党側は「虚偽答弁だ」と反発している。

予算委で首相は、朝鮮労働党序列2位の金永南最高人民会議常任委員長と9日に行った短時間の会話に関する「全ての拉致被害者の帰国を含めて拉致問題の解決を強く、直接求めた」と明らかにした。

文在寅韓国大統領の会談について、ダイが批判を甘ら決断しなければ向の面関係は築と伝え、慰安婦問題合意履行を求めた。経済問題などについて、中審議での自民党彦、立憲民主党の氏に対する答弁。予算委員会で、会を21日に開催する提案した。野党は拒否した。

# 政権、守りに徹する構え

## 収束期待で「逃げの姿勢」

学校法人「森友学園」への国有地売却問題を巡り、安倍政権が国会論戦で守りに徹している。財務省理財局長当時の国会答弁を批判されている佐川宣寿国税庁長官の国会招致をかたくなに拒否し、安倍晋三首相は答弁で深入りを回避。世論が再燃しないか警戒しつ

つ、問題の収束を期待する「逃げの姿勢」(野党幹部)を押し通す構えだ。

この日の論点は、9日に新たに公表された友学園関連の内部文書20件あり、計300

「首相の意見を聞いているんです、首相の」。13日の衆院予算委員会、質問に立った立憲民主党の長妻昭代表代行は、昨年7月の佐川氏の国税庁長官起用を「適

材適所」と先月国会で答弁した首相に、考えは変わっていないかをたずねた。長妻氏は「首相」と11回も繰り返して要求したが、答弁したのは麻生太郎副総理兼財務相。首相はこの後「財務相から答弁した通り」と述べた。

佐川氏は昨年、閣連文書で

## 首相、朝日新聞を非難

「捏造しても謝らない」

安倍晋三首相は13日の衆院予算委員会、過去の朝日新聞への批判をめぐり、私に一度も謝らない」と激

る昨年5月の報道に対し「全く違った。実際は開成小学校だった」と強調。今月6日付朝刊の検証記事について、自民党議員のフェイスブックに「哀れですね。朝日らしい惨めな言い訳。

朝日新聞への批判をめぐり、

